

日本原子力学会 第 117 回倫理委員会  
議事録

1. 日 時：2020 年 7 月 9 日（木）13:30～15:30
2. 場 所：日本原子力学会事務局会議室、Web 会議併用
3. 出席者：大場委員長、福家副委員長、神谷幹事、足立委員\*、伊藤委員\*、嶋田委員\*、菅原委員\*、高木委員\*、手柴委員\*、中野委員\*、中村委員\*（委員 13 名中 11 名出席）  
藤澤特別委員\* オブザーバー 日本原燃 金谷氏\*（※は Web 参加者）

4. 資 料：

- 倫 117-1 委員の退任、新委員候補について
  - 倫 117-2-1 倫理委員会 活動計画
  - 倫 117-2-2 倫理委員会役割分担表
  - 倫 117-3-1 金品授受問題意見表明関係 メール議論 7 回目までのまとめ
  - 倫 117-3-2 金品授受問題意見表明関係 メール議論 7 回目の回答まとめ
  - 倫 117-3-3 関西電力金品授受問題への見解（案）
  - 倫 117-4 次回倫理規程改定に向けた検討について…電子ファイル六つ
  - 倫 117-5 2020 年秋の大会 倫理委員会企画セッション
- 参考資料 第 116 回倫理委員会議事録

5. 議事概要：

(1) 前回議事録について

神谷幹事から、第 116 回倫理委員会議事録についてはメール審議にて承認されていることの紹介があった。

メール審議 4 月 20 日～5 月 27 日

委員 14 名中（当時）、回答 10 名、メール審議成立（委員の 3 分の 2 以上の返信）、10 名全員「承認」

(2) 委員の退任、新委員候補について

大場委員長および神谷幹事から、資料 117-1 に基づき、奈良林委員（6 月 19 日まで）と足立委員（7 月 9 日まで）から委員退任の申し出があったこと、日本原燃 金谷氏から委員への立候補の申し出があったことの説明があった。

委員会として金谷氏の委員就任について了承することとし、今後、理事会における承認手続き等を進めていくこととした。

(3) 活動計画等について

福家副委員長から資料 117-2-1 及び 117-2-2 に基づき説明があり、今後の活動の進め方等について確認した。

- ・倫理規程見直し検討のスケジュールは、後の議題で確認する。
- ・2021 年が倫理委員会発足 20 年となるので、シンポジウム等の企画を今後具体的に検討して

いく。

- ・6月頃開催で検討していた倫理研究会はコロナ対応で検討が中断しているので、Web開催の実効性なども含めて、検討していく。
- ・技術者倫理協議会の次回シンポジウムは12月7日に建築会館で開催予定。内容については、メディア等の場において、当該話題の専門ではないのに“専門家”と称して意見発信している事例が多々あることに関して、技術倫理の観点と絡めて討論していくことを検討中とのこと（中野委員から紹介あり）。
- ・足立委員が分担していた役割（次々回倫理研究会副担当、倫理規程改定WG4リーダー）は、金谷氏が引き継いでいく。

#### (4) 金品授受問題に係る意見表明について

大場委員長から資料117-3-1～117-3-3に基づき説明があり、議論を行った。

本日の議論を踏まえ、引き続き、大場委員長が委員会大でのメール議論をして最終案を固めていくこととした。最終案がまとまった段階で、委員会大で賛成、反対、保留、棄権の決をとり、委員会としての意見表明としていくこととした。

主な議論は以下のとおり。

- ・「2 行動原理の観点から」の5段落目は、今回の問題は立地地域自体が不信の目で見られてしまっている部分があるので、国民全体よりは立地地域にフォーカスした文章にした方がよいとの意見が複数あり、「…立地地域もそれを望んでいる。」との表現で修正していくこととする。
- ・「2 行動原理の観点から」6段落目の「…原子力事業者が、本件問題も参考にしながら、調達管理も含めた自律的なマネジメントを実践し、より自律的・主体的に安全確保を行うことにより、今後も人類の生存の質の向上および地球環境の保全に貢献することを期待する。」のくんだりには、この位置から意見表明の最後の提言的なまとめに箇所を移動して、菅原委員からの修正案をベースに修文する。その際に、「…人類の生存の質の向上および地球環境の保全に貢献…」は削除する。このようにしたときに、「2 行動原理の観点から」の最後が「…を危惧する。」で終わってしまうので、当該部のまとめ的な文章の追記を検討する。
- ・意見表明の最後の提言的なまとめの箇所は、見出しを追記することも検討する。

#### (5) 次回倫理規程改定に向けた検討について

資料117-4に基づき、神谷幹事から今後の検討の進め方について説明があった。

コロナ影響で委員会が開催できなかったこと等からこれまでの計画を変更し、10月頃に委員会での改定案を決定し、その後2ヶ月間のパブコメ、パブコメ意見の検討を経て、年度内には理事会上申をしていく方向とした。

資料117-4に基づき、各WGリーダー（WG1手柴委員、WG2伊藤委員、WG3嶋田委員、WG4足立委員）から検討状況について説明があった。

時間の都合で本日は内容の議論はせずに、委員会終了後にメールベースで委員会大でのコメントを集約していくこととした。

倫理規程改定の過去の変遷については、大場委員長から共有することとした。

(6) 2020 年秋の大会企画セッションについて

神谷幹事から資料 117-5 に基づき説明があり、引き続き準備を進めていくこととした。

- ・セッションタイトル「あらためて倫理について考え、行動する～金品授受問題、品質不正問題等を踏まえた倫理規程改定案～」
- ・座長 大場委員長、講演(1)菅原委員「金品授受問題を踏まえた倫理委員会の見解」、講演(2)神谷幹事「倫理規程改定案について」
- ・以上で採択され、9 月 18 日（金）13:00～14:30 の予定。なお、学会大会自体が Web 開催。
- ・予稿の締切りは 8 月 7 日で、セッション全体でのまとめ予稿とするか、講演それぞれの予稿とするかを検討中。

6. 次 回：

次回委員会についても Web 開催を基本として、別途日程調整することとした。

（調整の結果、8 月 6 日（木）13:30～15:30 となった。）

以上